

平成 31 年度 東京都内湾水生生物調査 8 月鳥類調査 速報

●実施状況

令和元年 8 月 20 日に鳥類調査を実施した。天候は晴れで、気温 32.3~34.9℃、南の風が 2.9~5.7m/sec であった。調査当日は中潮で、干潮が 13 時 29 分(61cm)、満潮は 19 時 44 分(189cm)であった(気象庁のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚
作業時刻	12:07-12:45	13:11-13:48	10:06-11:32
天候	曇→晴	晴	晴
気温(℃)	32.3	32.4	34.9
風向	南	南	南
風速(m/sec)	4.1	5.7	2.9
備考	海浜公園側はオリンピック会場の試験中のため、今回に限り観察範囲を縮小。	多摩川豪雨による流入の影響もあり、水が濁っていた。漁船が一隻停泊していた。	干潟が干出。風は弱く、波も穏やかであった。

●主な出現種等

	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚
数が多かった 鳥類上位 2 種	カワウ(222 羽) アオサギ(21 羽)	ウミネコ(254 羽) カワウ(169 羽)	ウミネコ(1874 羽) カワウ(1522 羽)
その他の 鳥類	ダイサギ、コサギ、イソシギ、ウミネコ、オオタカ	カルガモ、サギ類(コサギ等)、ムナグロ、メダイチドリ、キアシシギ、イソシギ、ユリカモメ、オオセグロカモメ、トビ、ハクセキレイ	カルガモ、スズガモ、サギ類(コサギ等)、クロツラヘラサギ、チドリ類(ダイゼン等)、シギ類(アオアシシギ等)、オオセグロカモメ、ハクセキレイ
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・重要種として 4 種を確認(ダイサギ、コサギ、イソシギ、オオタカ)。 ・第六台場でカワウやサギ類を確認したが、営巣は見られなかった。 ・鳥の島の護岸でカワウとイソシギが休息。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要種として 7 種を確認(ダイサギ、コサギ、ムナグロ、メダイチドリ、キアシシギ、イソシギ、トビ)。 ・干潟でカワウ、ユリカモメ、ウミネコが休息。 ・干潟でムナグロが採餌、メダイチドリが休息。 ・護岸でキアシシギとイソシギが採餌。 ・トビが干潟上空を飛翔。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要種として 17 種を確認(ダイサギ、チュウサギ、コサギ、クロツラヘラサギ、ダイゼン、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、セイタカシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、アオアシシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、イソシギ、キョウジョシギ)。 ・汀線付近の干潟でスズガモが休息。 ・干潟や汀線付近でカワウ、クロツラヘラサギ、ウミネコ、オオセグロカモメが休息。サギ類は採餌と休息。 ・干潟でチドリ類とシギ類が採餌。

＜お台場海浜公園＞

○調査地点の状況

第六台場・鳥の島ではカワウ、サギ類の営巣は終了していた。



○出現種(カワウ)

第六台場、鳥の島いずれも繁殖活動は終了しており、使用中の巣は見られなかった。第六台場の樹林や鳥の島の護岸で成鳥・幼鳥の群れが観察された。



○出現種(アオサギ、ダイサギ、コサギ)

第六台場でアオサギ、ダイサギ、コサギ、鳥の島でアオサギが確認された。繁殖活動は終了しており、使用中の巣は確認できなかった。



○出現種(イソシギ)

鳥の島の護岸で合計6羽が採餌、休息。本種は東京都レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。



○出現種(オオタカ)

第六台場の樹上で休息後、飛び去る。本種は環境省レッドリストで準絶滅危惧(NT)、東京都レッドリストで絶滅危惧ⅠA類(CR)に指定されている。



＜森ヶ崎の鼻＞

○調査地点の状況

最干潮時刻のため干潟は干出していたが、雨の影響で干潟周辺の海は濁っていた。



○出現種(ムナグロ、メダイチドリ)

干潟で2種のチドリ類が確認された。ムナグロは1羽が干潟で採餌。本種は干潟の他、水田、畑、草地に生息し、東京都レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されている。メダイチドリは4羽が干潟で休息。本種は干潟や砂浜に生息し、種の保存法で国際希少野生動物種、東京都レッドリストで準絶滅危惧(NT)に指定されている。



ムナグロ



メダイチドリ

○出現種(ゴイサギ)

岸辺の矢板上で2羽が休息。留鳥として湖沼、河川、海岸、水田に生息する。森ヶ崎での記録は稀で、昭和60年、62年に続き3例目となる。



○干潟利用状況

干潟ではカワウとウミネコの群れが休息。サギ類は干潟で休息の他、一部の個体が浅瀬で採餌していた。



カワウとウミネコ



ダイサギ

<葛西人工渚>

○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。



西側の地点より南西方向を見る



○出現種(ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ)

干潟でダイシャクシギ 1 羽、ホウロクシギ 2 羽、チュウシャクシギ 1 羽が確認された。このうちダイシャクシギとホウロクシギは干潟中央付近で採餌。チュウシャクシギは翼を負傷している様子で飛び立つことができなかった。



ダイシャクシギ



ホウロクシギ



チュウシャクシギ

○干潟利用状況

干潟や汀線付近でカワウとウミネコが群れで休息していた。また、汀線付近の浅瀬でアオサギやダイサギ、チュウサギ、コサギが採餌、スズガモが休息。干潟でクロツラヘラサギ 1 羽が休息。クロツラヘラサギは環境省レッドリストで絶滅危惧 I B 類 (EN)、東京都レッドリストで絶滅危惧 I A 類 (CR) に指定されている。



カワウとウミネコ



クロツラヘラサギ



スズガモ

<その他>

○ウミネコの繁殖

平成 31 年 5 月 22 日、6 月 19 日の調査で繁殖を確認した構造物上では、今回ウミネコは確認されず、繁殖は終了していた。構造物上で古巣を確認したのみ。



繁殖が確認された構造物



ウミネコの古巣

<トピックス>

- セイタカシギ -

セイタカシギは環境省レッドリストで絶滅危惧Ⅱ類(VU)、東京都レッドリストで絶滅危惧ⅠB類(EN)に指定されている希少種である。8月調査では葛西人工渚において、干潟で休息する1羽が観察された。葛西人工渚では比較的稀で、近年では平成16年度に次ぐ記録となる。

葛西臨海公園鳥類園内の池では過去に繁殖記録があり、平成19年に3羽の雛が育った。以後は平成20年、平成22年、平成23年、平成26年に産卵したものの、捕食や巣の水没により孵化に至っていない。



セイタカシギ